

令和4年度(2022年度)第1回千歳市地域協議会

次 第

日 時:令和4年8月27日(土)10時00分～

場 所:祝梅コミュニティーセンター

1 開 会

2 あいさつ

北海道総合政策部交通企画監 宇野 稔弘
千歳市副市長 横田 隆一

3 議 題

- (1) 新千歳空港における最近の動向について
- (2) 令和3年度航空機騒音測定結果等について
- (3) 住宅防音対策の進捗状況等について
- (4) 地域振興対策の進捗状況等について
- (5) 新千歳空港周辺地域振興基金について
- (6) その他

4 閉 会

<配付資料>

- 資料1-1 新千歳空港における最近の動向について
- 資料1-2 新千歳空港の近況について
- 資料2-1 令和3年度航空機騒音測定結果について
- 資料2-2 令和3年度遅延便の深夜・早朝時間帯使用状況について
- 資料2-3 千歳市側と苫小牧市側の着陸の状況について
- 資料3-1 住宅防音対策の進捗状況等について
- 資料3-2 集会施設(町内会館)に係る住宅防音工事について
- 資料4 地域振興対策の進捗状況等について
- 資料5 新千歳空港周辺地域振興基金について

新千歳空港における最近の動向について

1 深夜・早朝時間帯における定期便の状況

R 4 年夏ダイヤ：令和4年3月27日(日)～令和4年10月29日(土)

航空会社	路線・運航時刻	運航日（7月末まで）	備考
JAL	羽田 20:40 → 新千歳 22:15	3/27-3/31、4/10、4/12、4/14、4/19、4/23、 4/24、4/28-7/31	旅客便
ANA	羽田 20:30 → 新千歳 22:05	3/27-7/31	旅客便
ADO	羽田 21:00 → 新千歳 22:35	3/27-7/31	旅客便
	羽田 21:30 → 新千歳 23:05	3/27、3/28、3/31、4/1-4/3、4/8-4/10、 4/15-4/18、4/21-4/25、4/28-4/30、5/1-5/8、 5/12、5/13、5/15、5/20、5/22、5/27、5/29、 6/2-6/6、6/9-6/13、6/16-6/20、6/23-6/27、 6/30、7/1-7/4、7/7-7/11、7/14-7/31	旅客便
	新千歳 21:45 → 羽田 23:30	3/27、3/28、3/31	旅客便
SKY	羽田 20:30 → 新千歳 22:05	3/27-4/3、4/7-4/10、4/14-4/17、4/21-4/24、 4/27-5/8、5/12-5/16、5/19-5/23、5/26-5/30、 6/1-7/31	旅客便
APJ	成田 20:10 → 新千歳 22:00	4/1-7/31	旅客便

〔JAL:日本航空、ANA:全日本空輸、ADO:エア・ドゥ、SKY:スカイマーク、APJ:ピーチ〕

2 深夜・早朝時間帯における国際臨時・チャーター便の状況（令和4年7月末現在）

国・方面		H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
インドネシア	ジャカルタ	1	1						
	デンパサール	1							
韓国	仁川(インチョン)	2							
	清州(チョンジュ)		7						
	務安(ムアン)		11	27	27	4			
	済州(チェジュ)			8	6				
香港	香港		1						
グアム	グアム	2				1			
フィリピン	マニラ				1				
合計		6	20	35	34	5	0	0	0

2022年新千歳空港発着便数

新千歳空港の国内線は東京便を中心に運休していた地方路線の復便が続き、前年比が最大で2倍と増加傾向で推移していますが、コロナ流行前の2019年と比較しますと最大で7~9割程度となっています。国際線は、2020年3月下旬から2022年6月までの間、全路線で旅客定期便が運休していたものの、中国、台湾等への貨物便の運航が継続しています。

年月	発着便数					
	国内線	前年比	2019年比	国際線	前年比	2019年比
2022年1月	9,541	163.9%	87.1%	14	16.7%	0.7%
2022年2月	7,258	193.4%	72.5%	14	16.9%	0.7%
2022年3月	9,471	161.6%	84.2%	6	6.9%	0.3%
2022年4月	9,516	135.9%	87.2%	10	11.5%	0.5%
2022年5月	10,686	164.8%	93.5%	6	9.4%	0.3%
2022年6月	10,522	179.5%	94.2%	10	25.0%	0.5%

※本表、1月から6月データは北海道エアポート（株）作成の「新千歳空港の航空概況速報」を基に作成したものです。

2022年新千歳空港旅客輸送実績

新千歳空港の国内線では、ワクチンの普及や各自治体等による観光需要喚起策等の影響とみられる移動増により旅客数が前年を上回る水準で推移していますが、コロナ流行前と比較すると7割に満たず、未だに厳しい状況と言えます。国際線は、2020年3月下旬より月の旅客数が2022年1月を除き「0」が継続しておりましたが、今後、徐々に回復していくものと見込まれます。

年月	旅客輸送実績					
	国内線	前年比	2019年比	国際線	前年比	2019年比
2022年1月	887,785	229.6%	56.1%	79	0.0%	0.02%
2022年2月	555,443	153.7%	35.5%	0	0.0%	0.0%
2022年3月	986,264	143.9%	56.6%	0	0.0%	0.0%
2022年4月	906,793	160.5%	63.4%	0	0.0%	0.0%
2022年5月	1,147,432	253.6%	65.2%	0	0.0%	0.0%
2022年6月	1,275,168	293.7%	72.4%	44	0.0%	0.01%

※本表、1月から6月データは北海道エアポート（株）作成の「新千歳空港の航空概況速報」を基に作成したものです。

令和3年度航空機騒音測定結果について

資料2-1

令和3年度民航機Lden値

「新千歳空港の24時間運用に関する合意書」の確認事項に基づく、令和3年度の民航機Lden値の状況は次のとおりです。

(Lden値単位：dB)

区域	設置	測定局	24時間運用 対策区域	24時間 予測W	(参考) Lden換算値	令和3年度		令和2年度	
						年間Lden値	民航Lden値	年間Lden値	民航Lden値
千歳市	北海道	東郊	区域外	59		60	42	60	48
		梅ヶ丘	75～85W	75	62～70dB	57	55	57	53
		富丘	区域外	51		52	37	52	42
		稲穂	区域外	—		60	46	60	49
		根志越東	70～75W	70	57～62dB	54	52	54	50
		旭ヶ丘	75～85W	78	62～70dB	58	57	59	56
		駒里	補完 (<70W)	58	57dB未満	46	44	46	43
		あけぼの	準対 (<70W)	69	57dB未満	58	47	59	48
	千歳市	弥生公園	75～85W	74	62～70dB	57	54	57	52
		青葉丘	区域外	66		64	48	65	54
		住吉	区域外	60		63	49	63	52
		東雲	区域外	56		60	44	61	49
		寿	75～85W	76	62～70dB	58	57	57	56
		北斗	区域外	51		50	33	50	39
		里美	区域外	45		42	31	43	30
		駒里東	補完 (<70W)	—	57dB未満	42	38	43	39
苫小牧市	北海道	根志越南	補完 (<70W)	—	57dB未満	57	46	57	47
		植苗	75～85W	74	62～70dB	54	55	53	52
		ウトナイ	補完 (<70W)	69	57dB未満	49	46	49	44
		美沢	補完 (<70W)	64	57dB未満	44	44	43	41
		湖畔	70～75W	73	57～62dB	54	55	53	53
		斉藤宅	補完 (<70W)	66	57dB未満	46	46	42	41
		植苗公園	70～75W	—	57～62dB	50	49	48	46
		勇払	区域外	64		47	47	45	44
	苫小牧市	沼ノ端東雲	準対 (<70W)	—	57dB未満	51	50	50	49
		勇払東	区域外	—		47	47	45	44
		琥珀荘	70～75W	70	57～62dB	48	48	47	46
		丹治沼	75～85W	78	62～70dB	55	56	54	54
		沼ノ端東	補完 (<70W)	68	57dB未満	49	49	49	48
		沼ノ端	補完 (<70W)	67	57dB未満	51	51	50	50
		植苗会館	70～75W	69	57～62dB	49	46	50	45
		糸井	区域外	—		34	23	38	35

【参考】 Lden57dB=WECPNL値70、Lden62dB=WECPNL値75

○ 民航機Lden値の算出方法について

- ・新千歳空港周辺における航空機騒音の監視は、環境基準の評価を目的として、新千歳空港及び隣接する千歳飛行場を使用する航空機の騒音を測定することにより行っていることから、民航機の騒音だけを識別したり分離して把握することは困難である。
- ・そのため新千歳空港を離着陸する航空機の騒音を把握する方法として、千歳飛行場に係る自衛隊機（ジェット戦闘機）の離着陸のなかつた日を民航機の航空機騒音を測定した日とみなし算出対象とし、対象日毎のLdenの全ての値をパワー平均し、これを民航機の年間Ldenとしている。
- ・令和3年度の集計対象日数は133日である。（令和2年度：117日）

○ パワー平均値について

- ・環境基準に係る航空機騒音の評価も、測定された1機毎の単発騒音暴露レベルから

$$L_{den} = 10 \log_{10} \left(\frac{1}{N} \sum_i 10^{L_{deni}/10} \right)$$

(計算式)
 Lden : パワー平均値
 Ldeni : 各データ値
 N : 測定日数

1日毎のLden値を算出し、1年間のその全ての値をパワー平均して行うこととしている。

令和3年度遅延便の深夜・早朝時間帯使用状況について

1 航空会社別便数

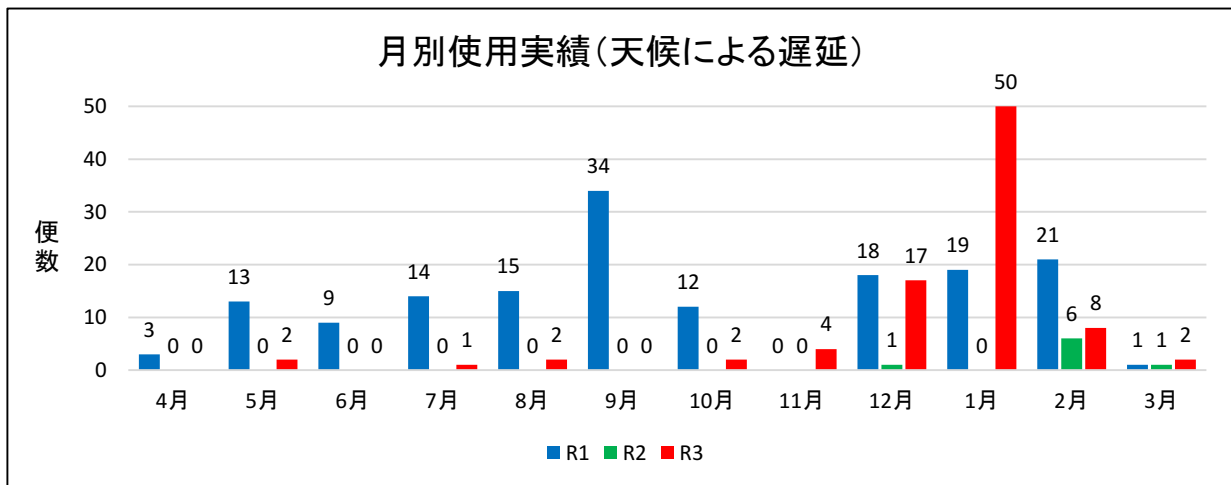
	JAL	ANA	ADO	SKY	その他 (国内)	その他 (国際)	計
R1	108 (33%)	85 (26%)	41 (13%)	20 (6%)	45 (14%)	24 (7%)	323
R2	13 (35%)	6 (16%)	9 (24%)	6 (16%)	2 (5%)	1 (3%)	37
R3	45 (26%)	26 (15%)	64 (38%)	14 (8%)	21 (12%)	0 (0%)	170

※ ()内は構成比(以下同様)

2 遅延理由別便数

	緊急事態	機材故障	天候	航空管制等	その他	計
R1	12 (4%)	38 (12%)	159 (49%)	6 (2%)	108 (33%)	323
R2	0 (0%)	15 (41%)	8 (22%)	1 (3%)	13 (35%)	37
R3	1 (1%)	25 (15%)	88 (52%)	2 (1%)	54 (32%)	170

※その他:機材不具合等の機材繰り、運航乗務員の接続遅れ、搭乗ハンドリング等出発準備作業遅れ、他便等乗客救済、空港施設混雑、搭乗取り止め、誘導路混雑など



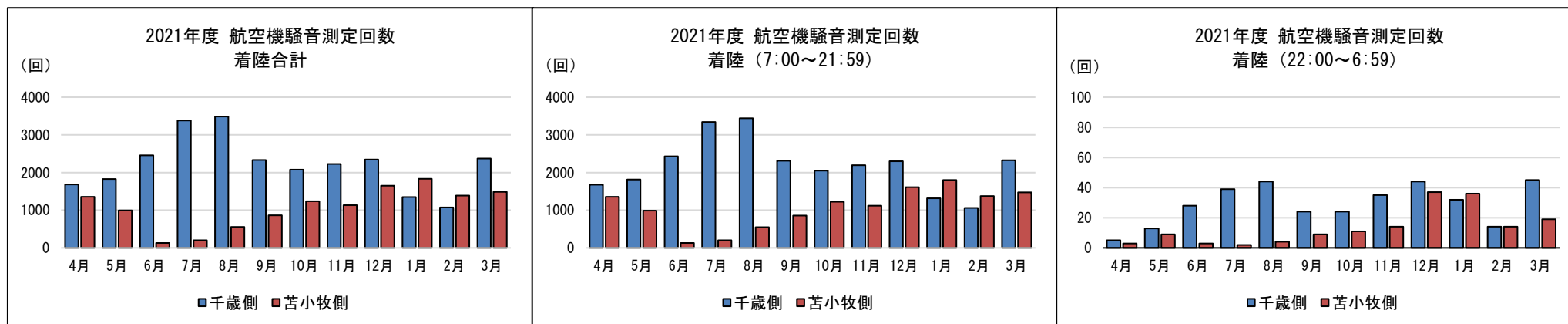
3 時間帯別便数

	22:00~ 22:19	22:20~ 22:39	22:40~ 22:59	23:00~ 23:19	23:20~ 23:39	23:40~ 23:59	0:00~ 5:59	6:00~ 7:00	計
R1	146 (45%)	65 (20%)	37 (11%)	22 (7%)	16 (5%)	7 (2%)	12 (4%)	18 (6%)	323
R2	18 (49%)	11 (30%)	4 (11%)	3 (8%)	1 (3%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	37
R3	74 (44%)	43 (25%)	22 (13%)	11 (6%)	4 (2%)	7 (4%)	9 (5%)	0 (0%)	170

千歳市側と苫小牧市側の着陸の状況について

令和3年度（2021年度） 着陸

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
合計	千歳側	1,683	1,827	2,458	3,379	3,484	2,336	2,075	2,229	2,343	1,349	1,076	2,372	26,611
	苫小牧側	1,358	997	130	205	557	864	1,237	1,135	1,649	1,837	1,392	1,490	12,851
7:00~21:59	千歳側	1,678	1,814	2,430	3,340	3,440	2,312	2,051	2,194	2,299	1,317	1,062	2,327	26,264
	苫小牧側	1,355	988	127	203	553	855	1,226	1,121	1,612	1,801	1,378	1,471	12,690
22:00~6:59	千歳側	5	13	28	39	44	24	24	35	44	32	14	45	347
	苫小牧側	3	9	3	2	4	9	11	14	37	36	14	19	161



・着陸方向については、千歳側は旭ヶ丘局、苫小牧側は植苗局を代表地点として、双方の測定局での計測値から判断。

・離陸方向については、千歳側から離陸する航空機が東京方面等へ南下する場合、千歳側で旋回後に苫小牧側に向かうため、双方の測定局で計測されるケースが多く、計測値からは正確な離陸回数を判断できない。

※千歳側の離陸回数は、苫小牧側の着陸回数とほぼ同数と推計される。離陸回数：千歳側約12,900回、苫小牧側約26,600回

住宅防音対策の進捗状況等について

1 令和3年度（2021年度）の実績等について（高齢者優先枠含む）

区分	意向調査 回答数	工事实績			R4 計画 数	計	実施率	
		～R2	R3	うち 繰越分				
千歳市	一般住宅	1,748	453	114	30	139	706	40.4%
	世帯数	1,790	472	114	30	143	729	40.7%
	集合住宅	132	29	5	1	17	51	38.6%
	世帯数	797	202	32	4	130	364	45.7%
	計	1,880	482	119	31	156	757	40.3%
世帯数	2,587	674	146	34	273	1,093	42.2%	
苫小牧市	一般住宅	277	91	21	7	16	128	46.2%
	世帯数	284	92	21	7	16	129	45.4%
	集合住宅	8	2	0	0	0	2	25.0%
	世帯数	81	32	0	0	0	32	39.5%
	計	285	93	21	7	16	130	45.6%
世帯数	365	124	21	7	16	161	44.1%	
合計	一般住宅	2,025	544	135	37	155	834	41.2%
	世帯数	2,074	564	135	37	159	858	41.4%
	集合住宅	140	31	5	1	17	53	37.9%
	世帯数	878	234	32	4	130	396	45.1%
	計	2,165	575	140	38	172	887	41.0%
世帯数	2,952	798	167	41	289	1,254	42.5%	

2 令和4年度（2022年度）の実施計画について（千歳市）

区分	R4予算分	R3繰越分	計
一般住宅	106	33	139
世帯数	110	33	143
集合住宅	12	5	17
世帯数	101	29	130
計	118	38	156
世帯数	211	62	273

3 高齢者優先枠の令和3年度（2021年度）の実績等について（千歳市）

区分	工事实績		計画数			計
	R2	R3	R4	R5	R6以降	
一般住宅	8	8	21	15	15	67
世帯数	9	9	25	19	17	79
集合住宅	0	0	0	0	0	0
世帯数	0	0	0	0	0	0
計	8	8	21	15	15	67
世帯数	9	9	25	19	17	79

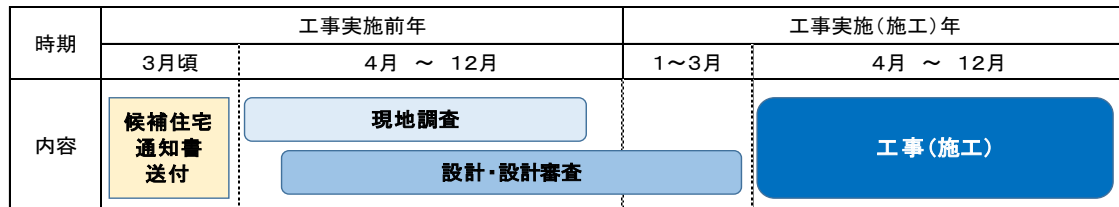
4 防衛省官舎（寿官舎）に係る住宅防音工事の実施について

官舎	住所	R4	R5	R6	R7	計
1号棟	寿2丁目15			6	12	18
2号棟	寿2丁目16		7	33		40
3号棟	寿2丁目17	7	32			39
4号棟	寿1丁目14	33	1	1		35
計（世帯数）		40	40	40	12	132

5 令和4年度（2022年度）の現地調査について（千歳市）

区分	第1次 (4/18~ 22)	第2次 (5/23~ 27)	第3次 (6/20~ 24)	第4次 (7/25~ 29)	第5次 (8/22~ 26)	第6次 -	計
一般住宅	32	31	36	39	13	-	151
集合住宅	0	4	0	0	7	-	11
計	32	35	36	39	20	-	162

【住宅防音工事の流れ】



【実施方針】

意向調査提出者を以下の評点基準により順位付けし、そのうちの上位の方から工事を実施。
1年目に現地調査・設計を行い、2年目に工事を実施（施工）。

【評価基準】

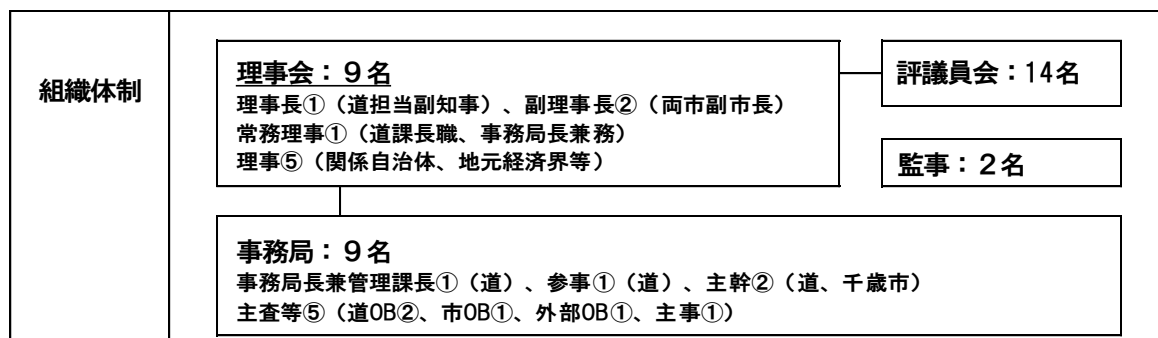
- ・騒音の影響の大きい地域
- ・障がい者や要介護者・高齢者（65歳以上）・乳幼児が居住する住宅
- ・内窓や冷房装置の設置工事のみを希望する場合（補完工事含む）等

※状況により調査や工事（施工）の時期がずれる可能性があります。

※工事実施予定時期等についてはこちらにお問い合わせください。

新千歳空港周辺環境整備財団 0123-42-2400

【参考（公財）新千歳空港周辺環境整備財団 組織図】



集会施設（町内会館）に係る住宅防音工事について

1 経過

令和2年8月に開催した千歳市地域協議会において「集会施設（町内会館）に係る住宅防音工事の考え方」を報告し、対象となる町内会館を管理する各町内会に工事希望の有無や時期等について調査を行い、その結果を令和3年10月開催の地域協議会に報告した。

2 集会施設（町内会館）の住宅防音工事

上記調査等を踏まえ、工事の実施時期については、令和5年度～令和10年度にかけて平準化（年間1カ所ずつ実施）し、町内会館の築年数や対策区域等から、次のとおり順次防音対策工事を実施する。

【工事実施（案）】

名 称	旭ヶ丘町内会館	弥生町内会館	寿町内会館	若葉会館	日の出南町内会館	あけぼの団地町内会館
所在地	旭ヶ丘3丁目8-1	弥生2丁目7-2	寿1丁目7-12	梅ヶ丘2丁目9	日の出4丁目5	日の出3丁目8
対策区域	B区域	B区域	B区域	C区域	C区域	C区域
施設の構造	木造	木造	木造	木造	木造	木造
面積	251.42㎡	195.03㎡	281.52㎡	168.51㎡	134.15㎡	246.49㎡
設置年度	H24	S59	H11	S60	H13	H14
6 枠時の 工事内容	・ 6 枠工事実施 (H7) ・ 空調機器等機能復旧 事業実施 (H20~H22) ・ H24解体・建替	・ 6 枠工事実施 (H7) ・ 空調機器等機能復旧 事業実施 (H23~H26)	・ H11解体・建替 ・ 建替に併せて6 枠工 事実施 (H11) ・ 空調機器等機能復旧 事業実施 (H23)	・ 6 枠工事実施 (H8) ・ 空調機器等機能復旧 事業実施 (H21・H25)	無	・ 6 枠工事実施 (H12) ・ H14解体・建替 ・ 空調機器等機能復旧 事業実施 (H25)
工事の希望	有	有	有	有	有	有
工事希望時期	令和9年(2027年)	令和5年(2023年)	令和5年(2023年)	令和6年(2024年)	令和9年(2027年)	令和10年(2028年)
工事実施時期 (予定)	令和8年(2026年)	令和5年(2023年)	令和6年(2024年)	令和7年(2025年)	令和9年(2027年)	令和10年(2028年)
工事内容(予定) (※)	「集会室」を対象 (新規住宅防音工事)	「集会室」を対象 (防音建具機能復旧工事)	「集会室」を対象 (防音建具機能復旧工事)	「集会室」を対象 (防音建具機能復旧工事)	「集会室」を対象 (新規住宅防音工事)	「集会室」を対象 (防音建具機能復旧工事)

(※工事内容詳細は設計事業者等と今後調整)

地域振興対策の進捗状況等について

(千歳市空港周辺地域生活環境等対策基金)

1 事業の概要等

区 分	内 容
基金の 総 額	26億円(毎年2.6億円を財団に積立→10年間で造成) ※ 道と千歳市から基金造成補助金として財団に支出
基金 による 事 業	千歳市空港周辺地域生活環境等対策基金の設置及び助成金交付要綱・要領 ① 防音機能維持・拡充等対策事業 ～ 生活環境の安定・向上に資する工事 原則、住宅防音工事(本体工事・補完工事)とセットで実施 ② 防音機能確保対策事業 ～ C工法の区域のうち、合意書で示した区域において、B工法に嵩上げする工事 ③ 生活環境整備等事業 ～ 地域における調和ある発展のための施設整備等

2 事業の執行状況等

項 目	～R2年度 (実績)	R3年度 (実績)	R4年度 (見込)	合 計
歳 入 A	1,300,000,000	260,000,000	260,000,000	1,820,000,000
執 行 額 B	580,653,394	139,132,758	130,000,000	849,786,152
繰 越 額 A-B	719,346,606	120,867,242	130,000,000	970,213,848

3 事業の進捗状況等

事業名	進捗状況	予算(執行)額		
		～R2(実績)	R3(実績)	R4(予定)
防音機能維持・拡充等対策事業 防音機能確保対策事業	～ R 2 (実績) 423件 R 3 (実績) 97件 R 4 (見込) 115件	417,723,672	99,884,758	130,000,000
生活環境整備等事業				
根志越エカ-コ`対策協議会(根志越) ～ 根志越温泉施設改修事業	H29年度整備完了 (H29.11月 完成)	60,000,000		
根志越エカ-コ`対策協議会(中央長都) ～ 中央釜加線道路整備事業	R3年度整備完了 (R3.11月 完成)	2,948,000	39,248,000	
駒里連合会 ～ 駒里町内会館改修等事業	H30年度整備完了 (H30.8月 完成)	60,000,000		
祝梅町内会 ～ 祝梅第一道路整備事業	H28年度整備完了 (H28.12月 完成)	39,981,722		
合 計		580,653,394	139,132,758	130,000,000

新千歳空港周辺地域振興基金について

1 基金の概要

造成目標額	令和2年度末 造成済額	令和3年度 新規造成額	令和3年度末 造成済額
30億円	19億5,900万円	70万円	19億5,970万円

- ・道内で事業を展開する企業を中心に約70社に協力を要請。
- ・平成28～令和3年度で17社から総額1億1,750万円の寄附表明。
- ・そのうち令和3年度は2社から70万円の寄附金の納入。

【主な寄附企業】

(株)ニトリ	(株)JTB北海道
伊藤組土建(株)	(株)近畿日本ツーリスト北海道
(株)ツルハホールディングス	(株)日本旅行北海道
(株)アインホールディングス	(株)リクルート北海道じゃらん
サツドラホールディングス(株)	YKK AP(株)
(株)ラルズ	北海道中央バス(株)
(株)ローソン	(株)AIRDO
(株)エクセルシャノン	

2 基金造成に向けた取組

- ・新型コロナウイルス感染症による社会情勢を踏まえ、令和3年度までは、企業等に対する協力要請を中断。
- ・今年度については、感染状況及び社会情勢を考慮の上、寄附要請活動の再開など、基金の確保に向け、経済界等と協議を続ける。